

2021年度 環境経営レポート

対象期間：2021年8月～2022年7月



株式会社 播磨設計コンサルタント

発行日：2022年11月23日



エコアクション21[®]
認証番 0008093

I . 環境経営方針

《 基本理念 》

株式会社 播磨設計コンサルタントは、総合建設コンサルタントとして、次世代へ持続可能な経済社会へと変革するため、地球環境問題について全従業員で一丸となり、環境への負荷を低減させる活動に、積極的に取り組みます。

《 行動指針 》

具体的に次の指針に基づき、環境への負荷を低減させる活動に取り組みます。

1. 関係する環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 事業所等の電力使用量の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減に取り組みます。
3. 自動車燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減に取り組みます。
4. 紙資源使用量を軽減し、分別ボックス等を設置し、再使用や再資源化による廃棄物排出量の削減に取り組みます。
5. 事業所等の水使用量を抑制し、総排水量の削減に取り組みます。
6. 当社が実施する測量設計における環境配慮を行います。
7. 人材の育成に力を入れていきます。
8. 本指針について、環境目標及び環境活動計画を作成し、定期的に見直しを行ない、継続的な改善に努めます。
9. 本指針を全従業員に周知させ、社外に公開します。

制定日 : 2011年08月10日

改訂日 : 2021年10月01日



株式会社 播磨設計コンサルタント

代表取締役 藤本 睦之

Ⅱ. 組織の概要

(1) 事業所名及び代表者名

株式会社 播磨設計コンサルタント
代表取締役 藤本 睦之

(2) 所在地

本社 〒675-0017 兵庫県加古川市野口町良野1580番地
神戸支店 〒650-0022 兵庫県神戸市中央区元町通五丁目2番3-826号
姫路支店 〒670-0955 兵庫県姫路市安田四丁目53番地の21
但馬支店 〒669-5305 兵庫県豊岡市日高町祢布1208番地の5
福知山営業所 〒620-0856 京都府福知山市土師宮町二丁目47番地
滋賀営業所 〒520-0812 滋賀県大津市木下町5番3号
奈良営業所 〒631-0003 奈良県奈良市中登美ヶ丘四丁目1番地4-302

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 高見 英之 常務取締役
環境管理担当者 西村 篤 営業課 係長
連絡先 電話 079-423-5155
FAX 079-423-5188
mail info@haricon.co.jp

(4) 事業の概要

測量業・建設コンサルタント・補償コンサルタント

測量業者登録	第(11)-8513号
建設コンサルタント	建02第5449号
補償コンサルタント	補30第1457号

(5) 事業規模

年間売上高

	本社	神戸支店	姫路支店	但馬支店	福知山営業所	滋賀営業所	奈良営業所	合計面積
延べ床面積 単位: m ²	347.09	17.32	27.43	34.50	38.00	16.50	20.00	500.84
人員 単位: 名	34	-	-	-	-	-	-	34
								合計 34 名

(6) 事業年度

08月01日～翌年07月31日

Ⅲ. 認証・登録の対象範囲

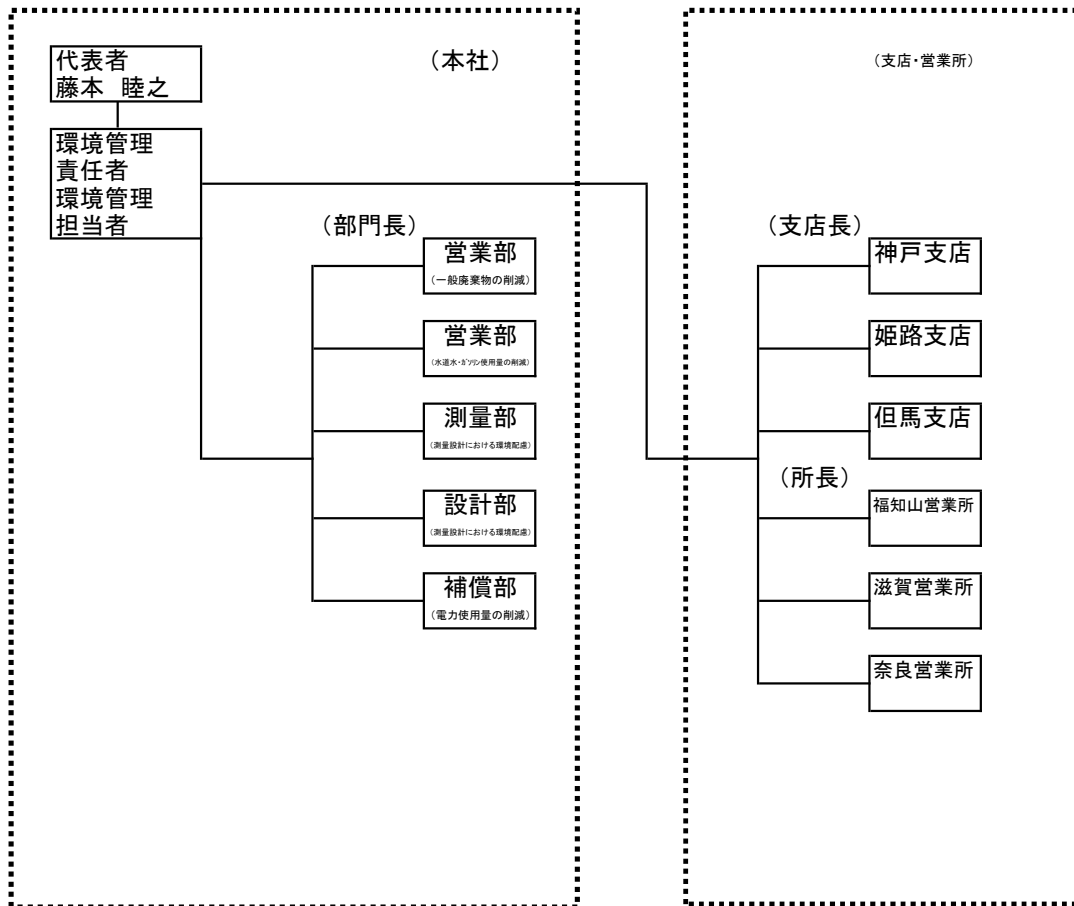
登録組織名: 株式会社 播磨設計コンサルタント

対象事業所: 本社・神戸支店・姫路支店・但馬支店・福知山営業所・滋賀営業所・奈良営業所

対象外: なし

活動: 測量業・建設コンサルタント・補償コンサルタント

IV. 株式会社 播磨設計コンサルタント 実施体制図及び役割・責任・権限表



役割・責任・権限	
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 環境管理責任者を任命 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 環境経営目標・環境経営計画書を承認 代表者による全体の評価と見直しを実施 環境経営レポートの承認
環境管理承認者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規制等の取りまとめ表を承認 環境経営目標・環境経営計画書を確認 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 緊急事態対応手順のテスト、訓練の指導及び総括 環境経営活動の取組結果を代表者へ報告 環境経営レポートの確認
環境管理作成者	<ul style="list-style-type: none"> 環境関連法規制等の取りまとめ表を承認取りまとめの作成 環境経営目標・環境経営計画の作成 教育訓練計画の作成と実行管理 緊急事態の想定と対応手順書の作成 環境経営レポートの作成
部門長・支店長	<ul style="list-style-type: none"> 自部門、自支店における環境経営システムの実施 自部門、自支店における環境経営方針の周知 自部門、自支店の従業員に対する教育訓練の実施 自部門、自支店に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 特定された項目の運用管理 緊急事態対応手順のテスト、訓練を実施、記録の作成 自部門、自支店の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

V. 主な環境負荷の実績

項目	単位	基準値	2018年度 (2018年8月 ～2019年7 月)	2019年度 (2019年8月 ～2020年7 月)	2020年度 (2020年8月 ～2021年7 月)	2021年度 (2021年8月 ～2022年7 月)
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	39,907	41,966	38,375	32,138	33,688
電力	kWh	28,349	21,106	21,406	22,681	24,936
ガソリン	L	13,306	15,185	13,597	10,736	11,095
廃棄物排出量						
一般廃棄物	kg	4600.5	4739.5	8485.7	4600.5	4,586.0
産業廃棄物	kg	738.5	405.5	543.3	738.5	505.4
総排水量	m ³	163	129.5	112.6	159.6	143.2

VI. 環境経営目標及びその実績

(1) 中長期目標

年度		基準値	2021年度	2022年度	2023年度
I. 二酸化炭素 排出量合計	kg-CO ₂	39,907	39,827 △0.2%	39,787 △0.3%	39,747 △0.4%
電力使用量削減	kWh	28,349	28,292	28,263	28,235
	kg-CO ₂ 対基準	9,015	8,997 △0.2%	8,988 △0.3%	8,979 △0.4%
ガソリン 使用量削減	L	13,306	13,279	13,266	13,252
	kg-CO ₂ 対基準	30,892	30,830 △0.2%	30,799 △0.3%	30,768 △0.4%
II. 廃棄物排出量					
一般廃棄物 削減	kg	4,600.5	4,591.3	4,586.7	4,582.1
	対基準	2020年度	△0.2%	△0.3%	△0.4%
産業廃棄物 削減	kg	738.5	737.0	736.3	735.5
	対基準	2020年度	△0.2%	△0.3%	△0.4%
III. 水使用量 削減	m ³	163.0	161.0	160.8	160.7
対基準	2015年1月 ～12月実績		△1.2%	△1.3%	△1.4%
IV. 製品への環境 配慮	件	2	4	4	4
対基準	2014年度				
V. 人材育成	行動目標	行動目標	行動目標	行動目標	行動目標

注1) 電力の二酸化炭素排出量への排出係数は、2019年度関西電力の0.318kg-CO₂/kWhを使用。

注2) 水道使用量について測定方法の変更により基準年度を変更(2015年1月～12月実績)

注3) 二酸化炭素排出量基準値を2013・2014年度の平均値に変更

(2) 2021年度の実績

項目	年度	基準	2021年度 (2021年8月～2022年7月)			
			目標	実績	達成度	評価
I. 二酸化炭素 排出量合計	kg-CO ₂	39,907	39,827 △0.2%	33,688	118%	○
電力使用量削減	kWh	28,349	28,292	24,936	113%	○
	kg-CO ₂ 対基準	9,015	8,997 △0.2%	7,930		
ガソリン 使用量削減	L	13,306	13,279	11,095	120%	○
	kg-CO ₂ 対基準	30,892	30,830 △0.2%	25,759		
II. 廃棄物排出量						
一般廃棄物 削減	kg	4,600.5	4,591.3	4,586.0	100%	○
	対基準	2020年度	△0.2%			
産業廃棄物 削減	kg	738.5	737.0	505.4	146%	○
	対基準	2020年度	△0.2%			
III. 水使用量削減	m ³	163	161.0	143.2	112%	○
対基準	2015年1月 ～12月実績		△1.2%			
IV. 製品への環境 配慮	件	2	4	4	100%	○
対基準	2014年度					
V. 人材育成	行動目標	行動目標		21		○

Ⅶ. 環境経営計画の内容と達成状況、次年度の取組内容

◎よくできた ○できた △あまりできなかった ×全くできなかった

No.	環境目標	達成状況 (2021年8月～2022年7月)	環境活動計画の内容	評価	結果と次年度の取組内容
I	二酸化炭素排出量削減	目標: 39,827 kg-CO2	下記参照		下記参照
		実績: 33,688 kg-CO2			
		達成度: 118%			
	電力使用量の削減		・昼食時及び使用していない電気の消灯	◎	昼食時等、自主的に消灯が出来ている。今後も継続的に行う。
		目標: 8,997kg-CO2	・エアコンの設定温度を守る (冷房28℃・暖房20℃を目安)	○	ポスター等により意識の向上を促した。
		実績: 7,930 kg-CO2	・照明の未使用箇所の消灯	◎	照明をLED化。未使用箇所の消灯も心がけている。今後も継続的に行う。
		達成度: 113%	・クールビズ、ウォームビズを行い冷暖房を抑える	○	概ね出来ている。以後継続。
	ガソリンの使用量の削減	目標: 30,830 kg-CO2	・急加速を抑制する	○	普段より朝礼等で意識を向上させる。以後継続。
		実績: 25,759 kg-CO2	・アイドリングストップを心掛ける	○	エコドライブを意識し実行する。以後継続。
		達成度: 120%	・燃費の良い車種への買換え	○	営業車1台ハイブリットへ変更した。
II	一般廃棄物削減	目標: 4,591.3kg	・可燃ごみの分別の徹底	○	特に紙ゴミ(ミスコピー裏面の再利用)
		実績: 4586.0 kg	・廃棄する前に再利用できるかの確認の徹底	○	リサイクル等の意識をもたせ、徹底していく。分別による意識の徹底。
		達成度: 100%	・納入業者に材料等の余分な包装を控えてもらう	○	送る前に確認等で削減出来た。以後継続。
			・紙使用量・排出量の削減	○	可能なものは両面コピーをし、使用量を抑えが変用量が増えた為、増加した。データ管理による用紙の削減。
	(詳細取組み) コピー用紙使用量の削減	目標: 539 kg	・両面印刷・両面コピーの浸透	○	裏面使用の再利用が出来なく排出が増えた。データ管理による用紙の減少。
		実績: 525 kg	・2UP・4UP印刷の浸透	○	データ管理による紙の減少。
		達成度: 100%	・会議用資料等の簡素化	○	大体出来ている。以後継続
			・社内LAN等に利用による文章の電子化	○	出来た。以後継続
	産業廃棄物削減	目標: 737.0 kg	・分別の徹底	○	大体出来た。来年度も継続実施
		実績: 505.4 kg			
達成度: 100%					
III	水道使用量の削減		・水使用量の削減	○	節水シールを貼り意識を促した。以後継続
		目標: 161.0 m ³	・手洗い時等日常節水意識の浸透	○	上記と同じ。以後継続。
		実績: 143.2 m ³	・社用車の洗車を必要最小限に留める	○	細やかな管理者の清掃意識。以後継続。
		達成度: 112%	・現場用器具等の水洗い時の節水	○	上記と同じ。以後継続。
			・水道管の漏水を定期点検	◎	メータ等を確認する。メータ確認により数値の確認。
IV	測量設計における環境配慮	目標: 4件	・再生素材等の積極的使用により設計提案を行う。	○	設計提案時に、再生素材を使用。以後継続
		実績: 4件			
		達成度: 100%			
V	人材育成	行動目標	・社内研修会の開催 ・社外講習会の参加等	○	継続して行う

Ⅷ. 環境関連法規等への違反、訴訟等の有無

当社に適用される主な環境関連法規及び遵守状況

下記の通り環境関連法規及び条例を遵守しており、違反はありません。また、過去11年間関係当局より違反等の指摘、訴訟及び地域からの環境に関する苦情や要請もありません。

No.	適用される法律名・条例名	遵守すべき要求事項	遵守状況
1	廃棄物処理法	委託基準:委託先の許可確認 市の許可を受けた業者に委託	遵守
2	消防法	消火設備、警報設備等の 設置及び維持義務	遵守
3	家電リサイクル法	廃家電の適正処理 (小売業者への引渡し義務)	実績なし
4	自動車リサイクル法	廃棄自動車の適正処理 (リース会社による適正処理)	実績なし
5	フロン排出抑制法	業務用空調機の適正処理 業務用空調機の定期点検と記録の保存	実績なし 遵守
6	資源有効利用促進法 (リサイクル法)	廃パソコンの適正処理	遵守
7	自動車 NOx・PM法	排出基準の確保	遵守

Ⅸ. 外部からの環境への苦情や要請

環境に関する苦情や要請はなかった。

Ⅹ. 緊急事態訓練

緊急事態記録（発生・訓練・テスト）

実施日：2021年10月6日

区 分	<input type="checkbox"/> 緊急事態発生 <input checked="" type="checkbox"/> 対応訓練 <input type="checkbox"/> 手順確認テスト （該当項目を■）
緊急事態発生、訓練又はテストの内容	1) 想定緊急事態：本社火災発生 2) 発生原因：テーブルタップ及びコードの接続部分から発火し、引火物へ飛び火 3) 訓練内容：「火災対応手順書」に基づいて訓練を行った。
担当部署 責任者	営業部 西村篤諮
問題点 再発防止策 水平展開 確認事項等	1) 問題点：日頃の清掃、コンセントからの過剰配線 2) 再発防止策：テーブルタップ及び配線コードに埃等の付着物が無いか確認 テーブルタップの熱量を減らす為に、電化製品の状態を確認し、使用していないものについては電源を切る、コードを抜くなどの対応を心掛ける。 3) 留意事項：日頃の清掃はもちろんの事、配線等に破損が確認された場合は使用を中止し、交換を行う。待機電力による夜間の火災を防ぐため、社内不在時にはプレーカーを落とす。
手順書変更	手順書の変更の必要性： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 （該当項目を■）
備 考	欠席者については、火災対応手順書を配布し、緊急事態発生時の対応を再確認してもらう。

- ・緊急事態対応訓練（テスト）を実施した場合に記録する
- ・テストは手順が有効であるか、機器が適切に機能するか、手順書通りに実施できたかを確認すること
- ・緊急事態に繋がるハット・ヒヤットした事項等もこの様式を用いて予防策を行う
- ・重大な緊急事態が発生した場合は、問題点処置票を用いて再発防止と類似事態の発生の予防策を行う

保管：環境事務局

XI. 環境上の問題点

記載すべき問題点はなかった。

XII. 代表者による全体の評価と見直し・指示

:実施日 2022年11月23日 実施者 藤本 睦之

1. 総括

エコアクション21環境経営システムを運用して11年が経過し、環境活動等エコ活動への参加により、環境への負荷低減へ意識が完全に定着出来たと感じています。その中でも二酸化炭素排出量の削減については社員各々の意識の定着による大幅な削減結果が出ています。この結果に油断することなく更なる意識の向上を持ち、今後も持続可能な経済社会の実現に貢献していく所存であります。

2. 見直し結果

(該当項目を■)

環境経営方針	■見直しの必要性 無	□見直しの必要性 有
環境経営目標及び 環境経営計画	■見直しの必要性 無	□見直しの必要性 有
実施体制	■見直しの必要性 無	□見直しの必要性 有

XIII. 環境活動の紹介



(節水)



(消火訓練)



(節電)



(省エネエアコンに切替)